

No. 2月-3

復 命 書

18年2月3日

静政会 代表

鈴木 和彦 様

17179 40-82

議員名 佐藤 成子

遠藤 広樹

尾崎 剛司

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

記

1 日 程

18年2月1日(水) ~ 2月2日(木)

2 視 察 先(都市名、視察施設等を具体的に)

三重県津市・四日市市

3 視 察 内 容(調査事項、調査結果を具体的に)

三重県津市…三重県議会視察 議会活性化について

三重県四日市市…四日市市議会視察 議会活性化について

4 そ の 他(所感、感想等)

別紙参照

視 察 報 告 書

視 察 月 日	平成 18 年 2 月 1 日 (水) ~ 18 年 2 月 2 日 (木)
視 察 地 名	三重県津市・四日市市
視 察 目 的	議会の活性化、議会改革について
初日は三重県庁に視察に行き、議会の活性化・議会改革について三重県議会事務局からの説明を受けた。三重県議会は、特に北川知事による県政改革により議会の存在感が失われるという危機感から思い切った議会改革を行ったとのことである。存在感を示すには、住民から選ばれたもう一方の代表として、住民の意見を反映した政策や対案を示していくことが求められたのだと思う。地域の課題の解決のため、議会と知事が対等の立場で議論するためには、政策の決定・監視・評価にとどまらず、条例提出なども含めた政策立案機能の向上が必要であり、それは三重県に限らず本市も含めた現代の地方議会全てに言えることなのだと思う。	
三重県議会と四日市市議会の視察を通じて、これは特に良いと感じたことに予算と決算を総合的に審査調査する機関、予算決算特別委員が設置されているということがある。この委員会を設置することにより、当初予算については予算編成が始まる以前、予算要求の段階から調査を行って意見・提言を行うとともに、決算審査だけではなく、前年度の政策評価にも関与して翌年度の運営方針につながっているということである。	
他にも本会議の質問方法を多問多答式から一問一答制に変えたことをはじめ、議場を対面演壇方式に変更したり、正副議長の立候補制の導入、本会議のテレビ中継や傍聴規則の見直し、議会図書室の改革など参考すべき課題は多くあった。今後は、他の市議会、県議会議員と交流がある際などに、本市との比較を行うことで、議会と	

して何をすべきか、何ができるのかについて常時考えていきたいと

思う。